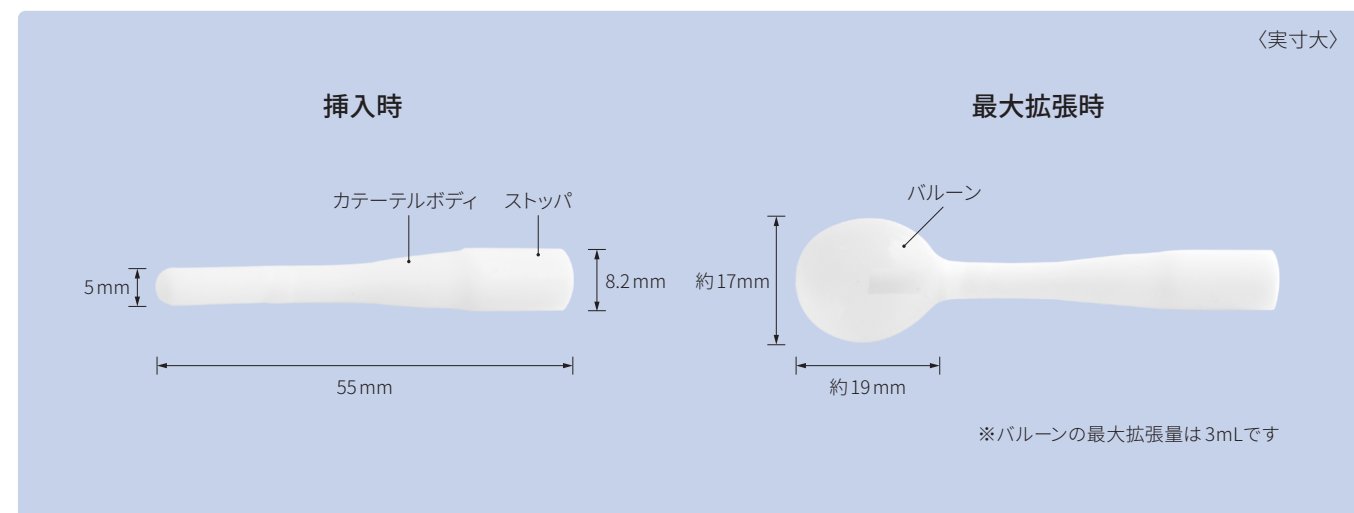


Word バルトリン腺カテーテルの各部名称



セット構成品

Word バルトリン腺カテーテル  一般名称：バルトリン腺用カテーテル 承認番号：30800BZX00154000 製造販売業者：ウイメンズヘルス・ジャパン株式会社	フェザー セーフシールドスカルペル No.11  販売名：フェザーセーフシールドスカルペル 一般名称：単回使用メス 認証番号：219AABZX00084000 製造販売業者：フェザー安全剃刀株式会社 美濃工場
ニプロ フローマックス S 24G 1 インチ RBGA  販売名：フローマックス 一般名称：単回使用皮下注射用針 認証番号：219AABZX00076A01 製造販売業者：ニプロ株式会社	ニプロ シリンジロック 3ML ハリナシ PP  販売名：ニプロシリンジ(針なし) 一般名称：汎用注射筒 届出番号：27B1X00045000133 製造販売業者：ニプロ株式会社

販売名：Word バルトリン腺カテーテル・セット
一般名称：バルトリン腺用カテーテル
承認番号：30800BZX00154000
クラス分類：管理医療機器(クラスII)

製品コード	製品名	最小販売単位
BT-WBC-SET-JP5	Word バルトリン腺カテーテル・セット	5 セット / 箱

- 本品は単回使用製品です。再使用しないでください
- ご使用の際は、電子添文をよくお読みの上、正しくお使いください
- セットに含まれる構成品は各々の電子添文をご覧ください

製造販売業者



Women's Health Japan

ウイメンズヘルス・ジャパン株式会社
〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-20-18 第8菊星タワービル2F
www.womenshealthjapan.com
【製品に関するお問合せTEL】 03-6240-9611

外国製造業者

Bioteque Taiwan Ltd. (台湾)



WHJ-PC0028-WBC/2026.08(3K)A-N



縫わずに開口部形成

Word バルトリン腺 カテーテル セット

- カテーテルが開存性を維持し上皮化を実現
- バルーン固定で抜け落ち防止
- シリコン製（ラテックスフリー）



Word バルトリン腺カテーテル

ニプロ フローマックス S 24G 1 インチ RBGA

ニプロ シリンジロック 3ML ハリナシ PP

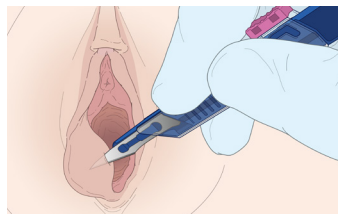
フェザー セーフシールドスカルペル No.11

Step 1 カテーテル挿入の準備（切開）

- 1 Word バルトリン腺カテーテル・セットと必要な器具・器材等を事前に準備します
- 2 患部を消毒し、局所麻酔を施したのち、付属のスカルペルを用いて嚢胞の外壁を切開して膿を排出します

※ 切開創の長さは5mm程度としてください

※ 切開の向きは処女膜輪と平行にしてください。また、留置後はストッパを腔に挿入するため、腔口に近い位置で切開してください



Step 2 バルーンの使用前検査

- 1 付属の3mL シリンジに滅菌生理食塩水または滅菌蒸留水を満たし、付属の注射針を接続します
 - 2 Word バルトリン腺カテーテル（以下、カテーテル）をまっすぐに伸ばし、ストッパの凹部に注射針を刺入します（図1）
 - 3 シリンジ内の液体をバルーンに注入し、漏れや膨張不能がないか確認してください（図2）
 - 4 バルーン内の液体をすべてシリンジに吸引し、元の状態に戻します
- ※ 必ず滅菌生理食塩水または滅菌蒸留水を使用してください
- ※ バルーンの最大拡張量 3mL を超えないようにしてください
- ※ バルーンを拡張させる際、過度の圧力をかけないでください

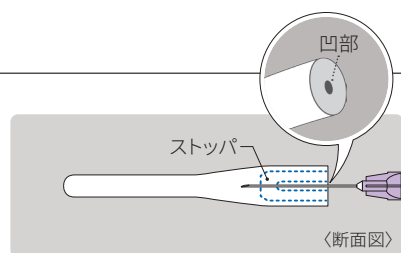


図1 まっすぐに伸ばすことで注射針の突き抜けを防ぎます

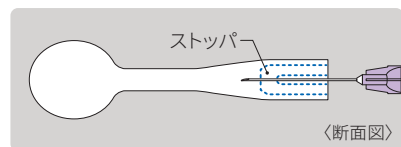
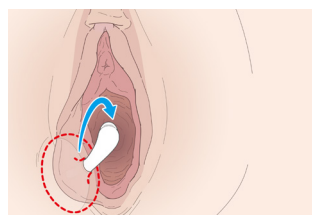
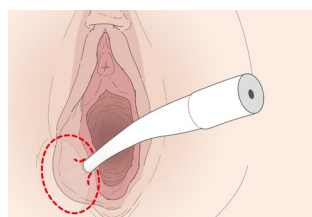
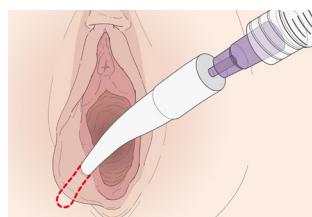


図2

Step 3 カテーテル挿入・留置

- 1 膿を排出した後、患部を滅菌生理食塩水で洗浄し、カテーテルのバルーン側を切開部からバルトリン腺に挿入します
- ※ 切開創が長く、バルーンを拡張しても脱落する可能性がある場合は、切開創の一部を縫合してください
- 2 カテーテルをまっすぐに伸ばした状態を維持しながら、滅菌生理食塩水または滅菌蒸留水をカテーテルに注入し、バルーンを少しずつ拡張させます
- ※ バルトリン腺の腫脹に応じて、バルーンの拡張径を加減してください
- ※ 感染症などの症状以外の持続的な疼痛を訴える患者に対しては、注入量を最大の3mLから2.5-2.0mLへ減らし、患者の状態を確認しながら注入してください
- 3 バルーンを拡張させた後、プランジャが戻らないように保持したまま、注射針をストッパから抜去し、バルーンをバルトリン腺内に留置します
- 4 カテーテルのストッパ側を腔内に押し込みます
- ※ カテーテル挿入後、患者を1時間程度観察し、出血等がないことを確認してください



処置後 最大 28 日

切開部が上皮化するまで、カテーテルを留置します

※ 嚢胞切開部の上皮化時間には個人差があります。本品は28日を超えて留置しないでください

Step 1 カテーテル抜去の準備

- 1 3mL 以上のシリンジと 24G 1インチの注射針等を準備してください

Step 2 カテーテル抜去

- 1 カテーテルをまっすぐに伸ばした状態で、カテーテルのストッパ凹部に注射針を刺入し、バルーン内に残っている液体を排出します
- ・シリンジと注射針を用いない場合は、カテーテルの根元より2cmのところに入り込みを入れて、液体を排出してください
- 2 カテーテルをバルトリン腺から取り除きます

滅菌生理食塩水または滅菌蒸留水を排出してもカテーテルが抜去できない場合

- カテーテルをわずかに押し引きしながら軽く回旋させ、回旋抵抗が軽減・消失したら、カテーテルを抜去します
 - 回旋操作で抜去できない場合は、局所麻酔を行い、小型の止血鉗子または鈍先の小外科剪刃を用いて、カテーテルと組織を鈍的に剥離します
 - 鈍的剥離で抜去できない場合は、組織を切開し、鋭的剥離を行います
 - 切開部が閉鎖して、カテーテルが迷入した場合は、鉗子または鑷子を用いてカテーテルを取り出します
- ※ バルトリン腺内にカテーテルまたはバルーンの残存物がないことを確認してください

患者説明 ～患者様へ以下をご説明ください～

日常生活の注意事項

- ・本品挿入部位に影響を与える行為はひかえてください

正座や自転車乗車、激しい運動等（患部に荷重がかかる姿勢やカテーテルの脱落リスクとなる動作）

湯船につかること 月経期間中のタンポン使用 ビデ使用 性交渉

- ・入浴についてはシャワーは可能です。湯船につかることは出血リスクが生じるため、避けてください
- ・入浴後はカテーテルおよび周辺部位をよく乾燥させてください
- ・月経期間中のナプキンや尿漏れパッドの使用は可能です。定期的に交換し清潔を保ってください
- ・治癒を促進し、感染リスクを軽減するため、飲酒や喫煙はひかえることを推奨します
- ・石油系軟膏や潤滑剤（ワセリン等）は原材料のシリコンを損傷させるおそれがあるため、使用しないでください
- ・カテーテルを自己抜去しないでください。定期的な受診のほか、必要に応じて、医師の診察を受けてください
- ・留置期間中に意図せずカテーテルが抜けてしまったときは医師の診察を受けてください

注意

- ・滅菌包装に破損や開封跡がある場合は使用しないでください
- ・使用前検査およびカテーテル挿入後、漏れ、膨張不能等の異常がある製品は使用しないでください
- ・使用前検査後、バルーンに注入した液体が排出できない（バルーンが収縮しない）場合は使用しないでください
- ・石油系軟膏や潤滑剤は原材料のシリコンを損傷させるおそれがあるため、使用しないでください